

①薬剤部紹介シート：

名古屋大学医学部附属病院薬剤部

・特徴や魅力（他の病院薬剤部との違い）

薬剤部員は、102名の様々な専門・認定薬剤師からなります。関連学会の認定・専門・指導薬剤師の資格を有する職員は延べ63名、博士号取得者は17名在職です。

また、薬剤部長と副薬剤部長のうち1名は、医学部教育および大学院医学系研究科医療薬学を担当する教員であり、トランスレーショナルリサーチを掲げて基礎研究を展開しています。当薬剤部から大学教員を25名程度輩出しているのも特徴です。

・私たちはこのような薬剤部です

- 病院薬剤師の役割は日々深化しています。私たちには、病院薬剤師として、専門性がみにつくキャリアパスをしっかりと応援できる職場環境があります。
- 病院薬剤師のやりがいって何だろう？私たちには、日々の奮闘の中、それぞれのやりがいや高い満足感が得られる職場環境があります。
- 地域がん診療連携拠点病院、小児がん拠点病院、がんゲノム中核拠点病院です。私たちは、東海がん専門医療人材育成プランにコミットしていきます。

・レジデント説明会

2月16日金16時ー：zoom

3月18日月15時ー、3月22日金15時ー：現地開催

・薬剤部採用情報

レジデント薬剤師の募集：

前期研修：医療薬学一般コース(一年間)

早期からの病棟業務を経験することで、臨床薬剤師としての基本的な知識並びに技能を修得する。

後期研修：医療薬学専門コース(一年間)

専門性の高い臨床業務を経験することで、チーム医療を実践できる高度な知識および技能を修得する。

*コースごとに修了証を発行

薬剤師正職員（任期付き）の募集：

- 博士の学位を有する者または博士課程修了見込者
- 薬剤師レジデント（大学病院研修性を含む）修了者または修了見込者

・Q & A

Q1：レジデントを1年しか行えなかった場合に名古屋大学医学部附属病院に就職できる人数などは決まっているのでしょうか。

A1：大学病院には任期付きの枠があり、毎年異なります。一方、ここ5年ではレジデント1年から正職員(任期付き)を希望した方で溢れた人はいません。レジデント2年も同様です。

Q2：どのような研究をレジデントの皆さんがされていますか。

A2：基本はコホート研究です。学会での優秀発表賞、論文発表につながることも多く、質の高い研究をしています。

・連絡先

薬剤部事務室

e-mail: pharmacy@med.nagoya-u.ac.jp TEL: 052-744-2674（平日 9:00ー17:00のみ）

②大学病院薬剤部のHP：

[名古屋大学大学院医学研究科 医療薬学・医学部附属病院薬剤部 \(nagoya-u.ac.jp\)](https://www.med.nagoya-u.ac.jp)

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/pharmacy/>

③採用情報専用のURL:

[薬剤師募集の案内 | 名古屋大学大学院医学研究科 医療薬学・医学部附属病院薬剤部 \(nagoya-u.ac.jp\)](https://www.med.nagoya-u.ac.jp)

<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/pharmacy/recruit/pharmacists/>

【近隣病院の採用情報案内】

愛知県病院薬剤師会ホームページをご参照ください。

<https://apshp.jp/recruit/>

